



(京都) 【電気エンジニア/Electrical Engineer】次世代ロボットの開発～自由な社風で0から1を生み出す～

※残業月平均15h以内 ※国際ロボット展2022出展！

募集職種

採用企業名

株式会社テムザック

求人ID

1455128

業種

機械

雇用形態

正社員

勤務地

京都府

給与

300万円～600万円

勤務時間

9:00～18:00（専門業務型裁量労働制）みなし労働時間/日：8時間 休憩時間：60分 時間外労働有無：有

更新日

2025年04月04日 06:00

応募必要条件

職務経験

3年以上

キャリアレベル

中途経験者レベル

英語レベル

日常会話レベル

日本語レベル

日常会話レベル

最終学歴

大学卒：学士号

現在のビザ

日本での就労許可が必要です

募集要項

～研究機関・協力企業と共にロボット開発/国内3拠点、海外2拠点を持つロボットメーカー～

人に役立つ「働くロボット=WorkRoid」の仕様の提案から設計、製造、試験、納品、メンテナンスと上流から下流まで全体の開発に携わっていただきます。

【職務概要】

新規ロボット開発にかかる電気・電子回路設計、配線、組立の電気全般の業務をお任せします。

※当社が請け負う新しいロボット開発の中心になるポジションです。

【職務詳細】

- 機能や機構のアイデア、プラン出し

- 様々な装置や機器の電気設計（電気回路図、配線図、部品選定、ノイズ対策、現場調整、不具合対応）
- 様々な装置や機器（PLC、PC、マイコン、多様なセンサ、モータ、バッテリー、変圧器等々）の配線、組立作業
- 自社開発基板の電子回路設計
- 電気エンジニアとして、機械エンジニア、制御エンジニアと協力してロボット開発
- 出張：有 国内/外 ※業務により月1～2回程度

【ロボット例】

■RODEM

従来の車椅子の不便を解消したモビリティ。後ろから乗り込める形で、車椅子を必要とする方に親切な設計。

■DENTAROID

歯科学士の臨床実習や試験用で開発された歯科患者シミュレーター。

音声認識機能を搭載し、医師の指示に従って口を開け、顔の向きを変える動作や、不意な首振りや咳き込みなどの動作をする他、開口疲労や嘔吐反射など、リアルに再現することが可能。

■現場作業ロボット

様々な現場で長時間労働や重労働、夜間業務を代替する、手助けする、人と共存するロボット。

鉄道、建築、介護など業種は多方面に渡ります。

【ポジションの魅力】

2017年6月に京都西陣に開設した中央研究所では、先進的なロボットの研究開発が進められています。

町家をそのまま生かした環境、西陣織工場だった伝統の織機と最新ロボットが共存するクリエイティブを刺激される空間の中で、1人1スペースの広いデスクがあり、業務を進めるのに大変集中できる環境です。

全国から絶えず開発の相談があり、その現場からニーズをヒアリングし、構想、設計、配線、組立、試験、納品立ち会いまで全ての段階に関わることができます。

- もっとお客様のニーズを汲んだ開発がしたい
 - もっと自由な発想と知識経験をモノづくりに活かしたい
 - 使われる現場の声を十分にフィードバックしたモノづくりがしたい
 - モノづくりの出口を意識しながら開発に取り組みたい
 - ユーザの声を直接聞きたい
- などの想いがある方を歓迎します。
- 「0から1」を創り出す工程、上流から下流まで、全てが経験できます。

スキル・資格

【必須条件】

- 高専、大学卒業以上
- 現場で、電気設計から配線までの開発に携わった実務経験のある方
- 普通自動車免許（AT可）をお持ちの方

【歓迎条件】

- 自由な発想で、新規ロボットの構想を企画・提案できる方
 - 電子回路設計から製作までの開発に携わった経験のある方
- ※応募の際は日本語の履歴書・職務履歴書をご用意ください。

【勤務地】中央研究所（京都市上京区大黒町689-1）

【雇用形態】正社員（期間の定め：無）

<試用期間> 3ヶ月 試用期間中も、待遇に変動はありません

<想定年収> 300万円～600万円 年俸制 12分割

記載金額は選考を通じて上下する可能性があります。月給(月額)は固定手当を含みます。

【待遇・福利厚生】

- 通勤手当、健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、育児休業あり
- 通勤手当：全額支給（上限100,000円まで）
- <定年> 65歳（再雇用あり）

【休日・休暇】

- 週休2日制（休日は土日祝日）
 - 年間休日日数120日／土曜、日曜、祝日 盆、年末年始休暇、有給休暇（入社6ヶ月経過後10日）
- ※会社カレンダーによる
※祝日のある週は土曜出勤の可能性あり

会社説明

航海の仲間も増えていきます。

ようやく本格的にロボットに強い追い風が吹いてきました。

でもまだまだ、波が高く決して順調な航海とはいえない毎日が続きます。

しかし、我々は開拓者。しかも歴史は短いので、ふり返る必要のある過去がありません。見つめるのは、未来だけ。

「異端」であり続けながら、人類とロボットの未来を創造していきたいと思えます。

新大陸はあの水平線の向こうに必ずあります。

The number of our crew members is increasing for this great voyage.

Finally, a strong tail wind is blowing into the service robot industry in full swing.

However, there are still many days where waves are high and we cannot say it is a smooth sail.

However, we are pioneers. Besides, our history is short, so there is no need to look back.
The only thing we look towards is the future.

While continuing to be 'eccentric', I would like to create a future where humans and robots are co-existing.
Our new continent must be beyond that horizon.